

令和5年度 学校評価結果公表シート

学校法人 東英学園
認定こども園 東雲幼稚園

1 本園の教育目標

- (1) 心身が健康で明るい子に育てる
- (2) 自分で考えたり、工夫したり自主的な行動のできる子に育てる
- (3) 誰とでも仲良くし、思いやりのある子に育てる
- (4) 心の束縛を解き、自由を与えながらきまりのある子に育てる

2 本年度、重点的に取り組む園内研究主題

- (テーマ) 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。[5領域『表現』]
(ねらい) 幼児の自己表現は、極めて直接的で素朴な形で行われることが多い。

3 幼稚園における学校評価の目的

- (1) 目標設定→取り組み→評価によって組織的・継続的な改善を図ること
- (2) 適切に説明責任を果たし、幼稚園・家庭・地域の連携協力による園づくりを進める
- (3) 設置者等が評価結果に応じて改善措置を講じ、教育の質を保証し向上を図ること

4 学校評価 実施一覧

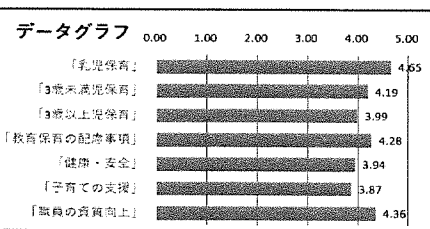
	種類	実施時期
①	教職員による自己評価	令和5年12月
②	保護者アンケート	令和5年12月
③	学校関係者評価	令和6年2月

5 教職員による自己評価の結果

～幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく保育者支援のための自己評価ワークシートによる～

データ集 (5段階)

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.65
「3歳未満児保育」	32	4.19
「3歳以上児保育」	53	3.99
「教育保育の配慮事項」	16	4.28
「健康・安全」	29	3.94
「子育ての支援」	18	3.87
「職員の資質向上」	9	4.36
計	172	全体平均 4.11



① 自己評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
第2章第2節 乳児期の保育 (評価平均4.65)	生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期である乳幼児期に、その生活時間の大半を過ごす場である園において、十分に養護の行き届いた環境のもとにくつろいだ雰囲気の中で、一人ひとりの子どもたちがのびのびと安心して楽しく過ごせるよう、保育者は受容的・応答的な関わりをしなければならない。来年度もこの振り返りを通して、子ども達と丁寧に関わっていきたい。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育 (評価平均4.19)	1歳児も2歳児も基本的な生活習慣の自立にむけ、日々丁寧に経験を積み、すくすくと成長できるよう今後も一人ひとりの発達課題を見極めてその子に応じた関わり方をしたい。また、コーナー保育に力を入れることで、個々が遊びに熱中する姿や時に他児と関わる姿が見られた。子どもたちの声や姿を拾い、職員間で語り合う文化作りをしていくことと、ドキュメンテーションなどで保護者に発信していくことは今後も大事にしていきたい。
第2章第4節 満3歳以上の園児の保育 (評価平均3.99)	今年度は、外遊びや水遊びを毎日思い切りできた。色々な素材にも触れ、思った形で表現できていた。今年は「人間関係」という領域に力を入れてきたが、日々の保育の中で、思いやりや協調性などが育っていきけるよう、日々丁寧に伝わってきた。今後も本園の教育目標や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が一人ひとりの中に育っているか丁寧に見取り、見通しを持って生活する力の育成にも力を入れていきたい。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項 (評価平均4.28)	園児一人ひとりの健康状態・精神状態を把握し、気になる点がある場合は、家庭と連携を密にとったり、家庭の生育環境の背景取りをしたりする必要がある。今年はコロナ禍が明け、以上児はマスクをとって生活できるようになったが、今までの2年間の影響は大きく、他のクラスと積極的に交わらなかつたり、うまく関わりづらいうちの子がいたりするので来年度、異年齢交流の機会を増やしていくことで集団保育の良さ、人と関わることの楽しさを味わって欲しい。
第3章 健康及び安全 (評価平均3.94)	今年度は人の動きが少なかったコロナ禍が明け、一気に行事や人の動きが戻り、コロナ前以上に健康及び安全について深刻に悩んだ事が多かった。それにより新たなマニュアルやルール作りが喫緊の課題となり、職員間で話し合い共有した。従来当たり前のように健康・安全に育ってきた環境が昨今ではなかなか難しく、一人ひとりの子どもが、或いは園全体として何が課題なのか見直し、それについてどのようにしていった良いか考え話し合っていくことが必要である。
第4章 子育ての支援 (評価平均3.87)	昨年度はコロナ禍が故に人と関わる機会が減っていたので、子育て支援や保護者支援に更に力を入れていかなければならないと取り組んだが、今年はコロナ禍が明け、様々な活動や交流ができるようになった一方、積極的にクラスの枠を超えて人と関わらない子どもの様子や保護者の困り感が見えてきた。公認心理師の藤森先生や市の健康推進課、教育委員会等と連携を取りながら更に子育て支援や保護者支援を進めていかなければならない。
第5章 職員の資質向上 (評価平均4.36)	個々のキャリアアップを見据え、計画を立てて研修を受けることができ、更には研修で学んだ内容をレポートで共有したり、話し合いの機会をもったり出来て良かった。来年度は更に園内研修や講師を呼んで本園で何度か研修会を開催したり、一人ひとりがファシリテーターの技術を身につけて話し合いをデザインし、研修の質を更に上げていきたい。

また、項目ごと自己評価の他に、自由記述で、各自、自らの保育の振り返りをし、PDCAサイクルののっつて、P（Plan…計画・課題）とD（Do…実践・行動）をそれぞれ挙げた。

そしてそれぞれの課題について、日々、振り返り、C（Check…再評価・確認）し、確認したなかから、達成できなかった原因を探り、新たな課題を提起してみるなど、3学期、ひいては次年度へとつなげていけるようにしている。A（Action…改善・修正）その際、自己課題が達成されず、悩むことがあるかも知れないが、その場合は同僚の教諭・保育士、同じクラスの担任、又は子どもたちの年齢が近いクラスの先生や、昨年度の担任、或いは副主任や主幹教諭など、色々な人に相談したり、アドバイスをもらったりするということが勧められている。（同僚性の醸成）

6 保護者アンケートの結果

1 園の管理・運営について

A=3,B=2,C=1の3段階での評価の平均値

	内 容	平均値	R4
1	園の環境整備や美化に努めている	3.0	2.9
2	施設・遊具の安全対策を行っている	2.8	2.9
3	園の施設や設備を有効に利用している	2.9	3.0
4	外部からの不審者の侵入などに対して安全対策を行っている	2.8	2.6
5	地震や火災などに対して避難訓練や安全対策を十分行っている	2.8	2.9
6	教育方針をわかりやすく伝えている	2.7	2.9
7	保育を参観する回数が適切である	2.8	2.5
8	家庭や連絡や保護者との連携が積極的に行われている	2.7	2.8
9	地域や保護者の意見に応えようとしている	2.8	2.8
10	地域に開かれた幼稚園づくりを行っている	2.9	2.9

2 教育活動について

	内 容	平均値	R4
	子どもは教育目標の姿になっている		
1	①心身が健康で明るい子	2.9	2.9
	②自分で考えたり工夫したり自主的な行動のできる子	2.7	2.7
	③誰とでも仲良くし、思いやりのある子	2.7	2.8
	④心の束縛を解き、自由を与えながらきまりのある子	2.7	2.8
2	子どもの様子を連絡ノート、園だよりやブログなどで知ることができた	2.7	3.0
3	遊びを通してルールを学んだり我慢したりといった経験を積めるような工夫をしている	2.8	2.9
4	子どもは喜んで幼稚園に通っている	2.8	2.9
5	命の大切さや社会のルールを守る態度を育てようとしていると感じられた	2.7	2.8
6	子どもに良い習慣や態度が身につくようにしていると感じられた	2.8	2.8
7	一人ひとりの子どもを大切にしようとしていると感じられた	2.7	2.9
8	子どもの心身の健康や悩みなどを気軽に相談できた	2.6	2.9
9	教職員は協力し合って保育にあたっている	2.7	3.0
10	保育室や園全体に子どもの活動や季節に合った保育の工夫が感じられた	2.9	3.0

3 園の経営、教育活動等について（自由記述）

・いつも温かく、丁寧に関わってくださり、安心して預けることができ、とても感謝しています。分からないことや疑問点も真摯に回答いただきました。日々の成長を共有し、一緒に喜んでくださる先生方、どうもありがとうございます。これからもよろしく願います。

・日々お世話になっております。様々な行事や体験をさせていただき、また日々の教育に手をかけていただき、ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

・いつもありがとうございます。コロナ規制も緩和され、フリー参観などの機会も増えて良かったです。今年からの秋祭りも楽しんでもらえたのではと思います。

・とにかく給食が大好きなので、卒園後に子どもが満足する食事を用意してあげられるか少し不安になるくらいです。前日も食育だよりで紹介していただきましたが、他にも子どもたちに人気のメニューのレシピが知りたいです。

・東雲幼稚園の先生方はとても素晴らしく、細かい気遣いもあり、安心して子どもを預けることができています。ブログなども子どもの様子を知ることが出来る点も助かります。いつもありがとうございます。今後、先を見据えて東英小学校以外との交流もあれば嬉しく思います。

・先生方がいつも見てくださるので、安心して預けることができています。これからもよろしく願っています。

7 学校関係者評価の結果

(1) 実施日：令和6年2月21日（水）10:00～/11:00～

(2) 評価者：本学園理事会（出席者4名）並びに評議員会（出席者7名）

(3) 内 容：教職員による自己評価と保護者アンケートの結果を報告し、以下のような評価、ご意見を得た。また、当日は「公開保育」とし「お店屋さんごっこ」という異年齢保育を参観してもらった。黒石市立東英小学校の藤田校長にも参観してもらった。

ウィズコロナの時代、人との密な交流が難しい今、幼稚園生活の中で、いかに、様々な人と色々な交流をして、人と関わることの楽しさを味わい、自分や人を信じることができるようになるかということや重要で、全クラスで取り組んでいることが大変評価できる。自己肯定感を育てると共に、人と協力しながら共にいきいきと活動することの充実感を味わえるよう、今後も豊かな教育・保育を進めたい。

保護者アンケート結果をもとに、評価できることは受け止め、低評価項目は改善を進めて頂きたい。幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進については、全国的に見ても取り組みが進んでいることは大変評価できる。またその内容を昨年度は県レベル、今年度は全国レベルで研究発表していることは、黒石市、青森県にとっても、貴重な取り組みとなっている。今後も継続して研究を重ねて欲しい。

8 令和5年度学校評価 結果の公表について

①教職員による自己評価

②保護者アンケート

③学校関係者評価

以上、すべての評価結果についてまとめたこの報告書（「学校評価結果公表シート」）を、本園ホームページ上で、3月下旬に公開する。

9 特記事項

昨年度、令和4年8月の幼稚園教育課程研究協議会に於ける「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について」という共通協議主題についての研究発表に引き続き、今年度は8月に第14回幼児教育実践学会においてポスター発表することができた。